

令和4年6月3日

宮津市議会議長 徳 本 良 孝 様

総務文教委員会
委員長 横 川 秀 哉

総務文教委員会 所管事務調査報告書

本委員会は去る令和2年9月11日の委員会において、所管事務調査のテーマを「持続可能な地域公共交通について」と決定し調査研究を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大等により、十分な調査研究ができなかったことから、令和3年度も引き続き同一テーマで調査研究を行った。

このたび、テーマについて委員会として取りまとめを行ったため、最終報告を行う。調査概要については、次のとおりである。

1 調査日

令和3年	6月23日	本会議にて所管事務調査中間報告
	9月30日	所管事務調査事項の継続調査研究を確認
1	2月9日	調査研究
令和4年	2月15日	調査研究
	3月11日	執行部（企画財政部）との意見交換
	4月13日	福知山市へ先進地視察調査
	4月22日	調査研究
	5月6日	調査研究
	5月23日	所管事務調査報告書の議決

2 調査内容

宮津市では、令和元年度まで地域公共交通として丹後海陸交通に委託してバスを運行していたが、運転手不足によりバス路線のうち枝線6路線の運行ができなくなった。そこで、市と地域が一体となって取組みを行う中で、枝線6路線のうち上宮津地区と養老・日ヶ谷地区（令和3年4月から世屋地区まで範囲を拡大）については令和2年4月から、由良地区については令和2年10月から、各地区で地域の公共交通を運営する協議会を立ち上げ、公共交通空白地有償運送を行っている。

いずれの協議会もスタートから半年ないしは1年で、まだまだ手探り状態のところもあり、今後も市民の生活の足として安定的に継続して運営されなければならない。

については、持続可能な地域公共交通についてどのような課題があり、それをどのように解決していくのか、令和2年度に引き続き調査研究することとした。

(1) 執行部（企画財政部）との意見交換

執行部より「京都府北部地域連携都市圏公共交通計画（案）」及び「宮津市地域公共交通計画（案）」の説明を受けた上で、その後、今後の地域公共交通について意見交換を行った。

(2) 福知山市へ先進地視察調査

大江まちづくり住民協議会が運営する大江地域交通空白地有償運送事業「鬼タク」の取組みについて説明を受け「事業者協力型有償運送」という新しい運営形態を学ぶとともに意見交換を行い、その後実際に運行されている車両に乗り説明を受けた。

3 委員会で一致した意見

調査テーマについて、委員会として一致した意見は以下のとおりである。

「持続可能な地域公共交通について」

- ① 本市においては人口減少や自家用車の普及により、バスや鉄道などの地域公共交通の利用者が減少し、その運営維持が課題となっている。一方では、高齢化が進む中、駅舎内の段差の解消やスムーズな乗り継ぎなど利便性の向上が求められる。
- ② 定時定路線においては、利用ニーズの多い時間帯やルートは良いが、今後更なる需要拡大を期待する意味から、バスに乗るという機運の醸成とともに観光客等への更なる啓発促進により、バス利用者を増やすことが持続可能に繋がると考える。
- ③ 交通空白地有償運送については、利用者を増やしていくことで利用料収入が高まり、ドライバーの報酬に反映するとともに充足感にもつながる。また、将来にわたって持続可能とするため、行政として財政的な支援はもとより、次代を担うドライバーの確保や運営者の育成など、より丁寧なサポートが求められる。